



平成 28 年 10 月 12 日

中部地方整備局

平成 28 年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」に ^{さくら}桜の郷 ^{さとしょうかわ}莊川 を認定 ～全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与します～

1. 概要

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、現在では全国で1107箇所につながり、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、その重要性が高まっています。

国土交通省では、「道の駅」の質的向上に向けた取組として、全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与する“特定テーマ型モデル「道の駅」”を新たに募集したところです。

今般、“住民サービス”をテーマとして募集し、有識者懇談会における審議・選定を経て、中部地方整備局管内では、「道の駅」^{さくら}桜の郷 ^{さとしょうかわ}莊川（岐阜県高山市）が認定されました。

2. 平成 28 年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」 認定数 全6箇所

- ・^{りょうかみ}両神 ^{やくし}温泉 ^{おがの}薬師の湯（埼玉県 小鹿野 町）
- ・^{さくら}桜の郷 ^{さとしょうかわ}莊川（岐阜県高山市）※詳細は別添資料のとおりです。
- ・^{みやま}美山 ^{なんたん}ふれあい広場（京都府 南丹 市）
- ・^{こい}鯉が ^{くぼ}窪（岡山県 新見 市）
- ・^{しょうどしま}小豆島 ^{しょうどしま}オリーブ公園（香川県 小豆島 町）
- ・^{さかたに}酒谷（宮崎県 日南 市）

認定された「道の駅」は、全国の「道の駅」からの視察及び講師の要請に対応するなど、「道の駅」の質的向上に貢献する役割を担います。

3. 配付資料

特定テーマ型モデル「道の駅」の概要

平成28年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」位置図及び一覧

「道の駅」桜の郷莊川の概要

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、高山記者クラブ

5. 問い合わせ先

中部地方整備局 道路部 計画調整課長 ^{ひょうどう}兵藤 ^{まこと}真
課長補佐 ^{みやはら}宮原 ^{さとし}敏

TEL 052-953-8171 FAX 052-953-9180

特定テーマ型モデル「道の駅」の概要

- 地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、「道の駅」の重要性が高まっている。
- 全国各地の「道の駅」の模範となって広く周知することで、質的向上に寄与
- 「道の駅」が有する個々の「機能」が異なる点を踏まえ、模範性を高めるために、テーマ（部門）を設定
- 平成28年度は、テーマ（部門）として“住民サービス”を設定



平成28年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」

国土交通大臣認定

中山間地域及び漁村地域等において、高齢化社会に対応した地域福祉向上のための取組、地域課題に対応した住民生活支援のための取組、小さな拠点形成を目指した取組など、公共の福祉を増進することを目的とした地域住民へのサービス向上に資する取組を、現在実施し成果をあげているもの

(認定の流れ)



「道の駅」有識者懇談会

- 委員長：石田 東生〔筑波大学大学院
システム情報工学研究科教授〕
- 楓 千里〔(株)JTBパブリッシング
取締役 法人情報事業部長〕
- 篠原 靖〔跡見学園女子大学
マネジメント学部准教授〕
- 根岸 裕孝〔宮崎大学
地域資源創成学部准教授〕
- 山田 知子〔比治山大学
現代文化学部教授〕

(敬称略・五十音順)

平成28年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」



平成 28 年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」

都道府県	市町村	設置年度	駅 名	主な特長
埼玉県	おがの 小鹿野 まち 町	H11	りょうかみ 両神 温泉 やくし 薬師 の湯	町が「道の駅」を地域福祉の拠点として位置付け、高齢者の生きがい作りの取組を展開し、地域住民の交流の場として機能。
岐阜県	たかやま 高山 市	H14	さとしょうかわ 桜の 郷 荘川	まちづくり協議会への積極的な参画・連携により、住民ニーズを踏まえた健康増進の取組を展開し、地域住民の交流の場として機能。
京都府	なんたん 南丹 市	H17	みやま 美山 ふれあい広場	住民自治組織が中心となり、行政サービスや福祉サービス等の機能・施設を連携させ、総合的な拠点を形成。
岡山県	にいみ 新見 市	H9	こい くぼ 鯉 が 窪	計画から運営まで全てで住民主体を掲げ、行政窓口や診療所等を集約してワンストップサービスを実現した「小さな拠点」を形成。
香川県	しょうどしま 小豆島 ちょう 町	H8	しょうどしま 小豆 島 オリーブ公 園	「道の駅」を福祉施策の中核と位置付け、オリーブ販売等による収益を福祉関連施設の運営に還元することで住民サービスを実現。
宮崎県	にちなん 日南 市	H11	さかたに 酒谷	「道の駅」の収益を自治組織に還元し、住民主体で「道の駅」を地域の自治・交流活動の拠点として育て、「小さな自治」を形成。

- 温泉施設や屋内運動場を活用した住民密着型の取組により、住民の憩いの場、交流の場として機能。
- 温泉施設利用者への無料送迎サービス、屋内運動場でのスポーツフェスティバルの開催等、**地域住民の健康増進に資する様々な取組**を実施。
- 「道の駅」が地区の**まちづくり協議会へ積極的に参画・連携**し、住民ニーズを踏まえた取組を展開することで、**地域住民の交流の場を形成**。

岐阜県



道の駅「桜の郷荘川」
岐阜県高山市
〔人口 約92.7千人〕
〔面積 約2,177.7km²〕



健康増進に資する取り組みの実施

◇地元高齢者など荘川地区の住民に対し、温泉施設へ無料送迎を実施。
(平均 約67人/月 利用)



無料送迎サービス

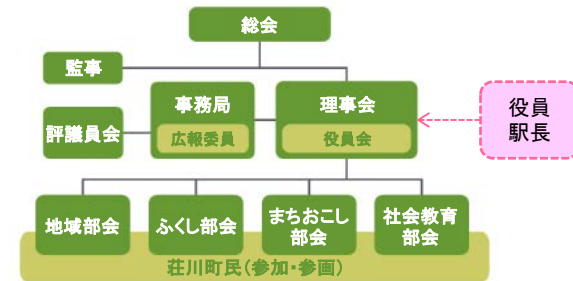
◇屋内運動場を活用した、地域住民の健康増進の取組を開催。
(平均 約8回/月 約170人/月 利用)



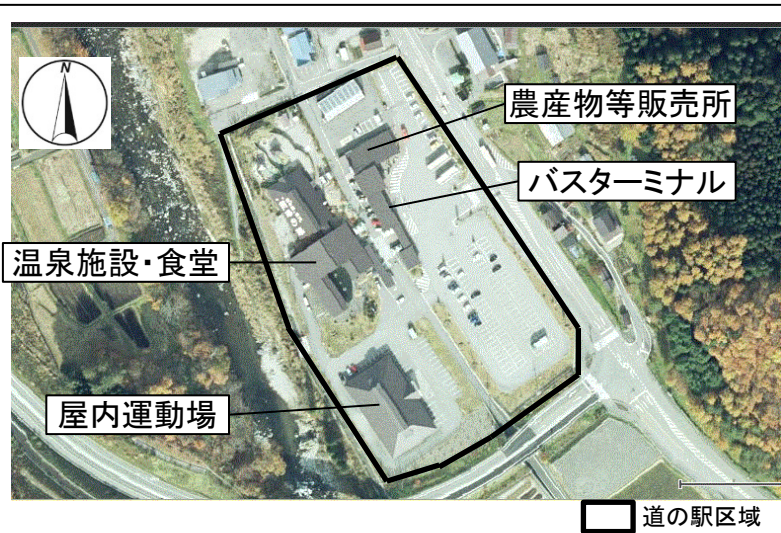
荘川町シルバースポーツフェスティバル

地区のまちづくり協議会との連携

◇駅長が荘川地区まちづくり協議会に積極的に参画し、道の駅との連携を深め、取組全般に渡りマネジメント



荘川地区まちづくり協議会



チャリティイベントを道の駅食堂で開催